

平成 27 年度 財務計算書類の概要

平成 27 年度財務計算書類は、学校法人会計基準の一部を改正する省令（平成 25 年 4 月 22 日文科科学省令第 15 号）に基づき、計算書類の様式を変更し、作成した。

なお、平成 27 年度は、高等学校の入学者増に伴う校舎の建築や学生生徒等納付金・補助金収入の増額、ピッグ・リサーチセンター改修計画の翌年度への一部繰越し、奨学基金設立を伴う寄付金の特定資産への繰入れ、附属動物病院の高圧滅菌器の故障に伴う緊急対応等が生じたことから、補正予算を編成し、執行した。

概要については、次のとおりである。

1. 収入について

平成 27 年度の主な事項は、高等学校の入学者数が 508 人となったことに伴い、学生生徒等納付金収入が増加したこと、学園創立 125 周年記念事業の一環として、平成 26 年度に引き続き募金活動を実施したこと、また、故増井光子教授のご遺族から、既設の「増井光子基金」に対して、10 百万円の寄付があったこと、故古泉巖名誉教授のご遺族から、奨学基金設立を目的とした寄付があり、「古泉基金」を新設したこと等が挙げられる。

2. 支出について

平成 27 年度の主な事項は、学園創立 125 周年記念事業として、記念講演会・式典の開催及び記念誌を発刊し、併せて 110 周年記念会館を改修して、「麻布大学いのちの博物館」を開館した。また、記念募金の一部については、博物館及び新食堂（カフェテリアさくら・テラスいちょう）等を趣意に沿った形で整備した。

施設設備の整備については、高等学校校舎（3 号棟）、豚実習場及びドッグカフェ（ウィンドチャイム）が完成し、ドッグランの整備を行った。

なお、豚舎の建替及びピッグ・リサーチセンターの改修工事については、補正予算編成後、計画の変更があったため、全額を翌年度に繰り越した。

3. 財務計算書類について

学校法人会計基準の一部改正は、作成する財務計算書類が、ステークホルダーにわかりやすく説明できることが求められていることを背景として、「資金収支計算書」のほかに、活動区分ごとの資金の流れを明らかにするための「活動区分資金収支計算書」が加わり、従来の「消費収支計算書」に代わり、経常的及び臨時的な収支を把握することを目的とした、「事業活動収支計算書」を作成することとなった。

次ページ以降は、計算書類ごとの概要説明である。

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、その会計年度の諸活動に対応するすべての収支の内容並びにその会計年度における支払資金のてん末を明らかにするものである。平成26年度からの前年度繰越支払資金は35億87百万円、平成28年度への翌年度繰越支払資金は38億17百万円となり、資金収支総額は120億26百万円となった。

〔収入の部〕

(単位:千円)

科目	平成27年度 補正予算額	平成27年度 決算額	差異
1 学生生徒等 納付金収入	5,154,100	5,112,810	41,290
2 手数料収入	179,000	188,448	△ 9,448
3 寄付金収入	85,000	69,086	15,914
4 補助金収入	819,900	805,578	14,322
5 資産売却収入	200,000	200,000	0
6 付随事業・ 収益事業収入	452,000	452,236	△ 236
7 受取利息・ 配当金収入	19,224	21,211	△ 1,987
8 雑収入	164,000	201,204	△ 37,204
9 借入金等収入	0	0	0
10 前受金収入	865,443	1,006,218	△ 140,775
11 その他の収入	1,424,600	1,519,600	△ 95,000
12 資金収入 調整勘定	△ 1,112,600	△ 1,136,815	24,215
13 当年度収入合計	8,250,667	8,439,576	△ 188,909
14 前年度 繰越支払資金	3,586,849	3,586,849	0
収入の部合計	11,837,516	12,026,425	△ 188,909

【1. 学生生徒等納付金収入】

補正予算額を下回ったが、高等学校の入学者増に伴い、前年度と比較して、1億19百万円の増額となった。

【2. 手数料収入】

大学、高等学校ともに予算積算人数を上回ったことに伴い、入学検定料の増等により、9百万円の増となった。

【3. 寄付金収入】

主な特別寄付金収入は次のとおりである。

- ・創立125周年記念募金 17百万円
(平成26年度～平成28年度累計:1,672件, 64百万円)
- ・増井光子基金 10百万円
(平成23年度創設 10百万円)
- ・古泉基金 10百万円
- ・奨学寄付金 21百万円
- ・父母会からの寄付金 9百万円

【4. 補助金収入】

国庫補助金が4億97百万円、地方公共団体補助金が3億5百万円であった。

【6. 付随事業・収益事業収入】

附属事業収入(動物病院収入)は3億51百万円、受託事業収入は1億1百万円であった。

【8. 雑収入】

私立大学退職金財団交付金収入69百万円は大学教員5人分、神奈川県退職基金財団交付金収入76百万円は高等学校教員3人分に係る交付金である。

なお、大学で1人、高等学校で1人の自己都合等による退職者の増があった。

【10. 前受金収入】

高等学校の平成28年度入学者数及び併願による一時金納入者数が予算積算人数を上回るなど、全体で1億41百万円増となった。

【11. その他の収入】

主に、退職金、施設・設備の整備、奨学金貸与に支出される経費への充当及び定期預金の満期切替えによる特定資産の取崩し収入である。

なお、退職給与引当特定資産の満期継続に当たり、より利率の高い銀行への預け替えを実施するなど、全体で95百万円増となった。

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

〔支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成27年度 補正予算額	平成27年度 決 算 額	差 異
1 人 件 費 支 出	3,153,910	3,079,349	74,561
2 教 育 研 究 出 経 費 支 出	1,739,590	1,720,342	19,248
3 管 理 経 費 支 出	600,470	594,121	6,349
4 借 入 金 等 出 利 息 支 出	31,000	30,913	87
5 借 入 金 等 出 返 済 支 出	111,110	111,110	0
6 施 設 関 係 支 出	948,863	765,481	183,382
7 設 備 関 係 支 出	395,056	333,090	61,966
8 資 産 運 用 支 出	1,285,100	1,342,514	△ 57,414
9 そ の 他 の 支 出	742,664	762,199	△ 19,535
10 予 備 費	150,000	0	150,000
11 資 金 支 出 出 定 調 整 勘 定	△ 453,806	△ 530,146	76,340
12 当 年 度 支 出 合 計	8,703,957	8,208,973	494,984
13 翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	3,133,559	3,817,452	△ 683,893
支 出 の 部 合 計	11,837,516	12,026,425	△ 188,909

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

【1. 人件費支出】

退職金支出は、自己都合等による退職者2人を含む、大学教員5人及び高等学校教員3人に対する退職金である。

【4. 借入金等利息支出】

生命・環境科学部棟建設資金の借入に対する借入金利息である。なお、国庫補助金として、借入利息に対する利子助成22百万円があった。

【5. 借入金等返済支出】

生命・環境科学部棟建設資金の借入に対する第3回目の元金返済である。

【6. 施設関係支出】

主な施設関係支出は次のとおりである。

- ・ドッグカフェ(ウインドチャイム)及びその周辺等整備 3億51百万円
- ・高等学校校舎(3号棟) 2億7百万円
- ・麻布大学いのちの博物館 83百万円
- ・豚実習場 68百万円

なお、豚舎建替及びビッグリサーチセンター改修に係る予算を計上していたが、実施時期を平成28年度に変更したことに伴い、未執行となった。

【7. 設備関係支出】

主な設備関係支出は次のとおりである。

- ・第1期ネットワークシステム 56百万円
- ・教育支援システム 34百万円
- ・腹腔鏡・関節鏡 17百万円
- ・麻布大学いのちの博物館展示関係備品 14百万円

【8. 資産運用支出】

主な資産運用支出は次のとおりである。

- ・有価証券購入支出 2億円
- ・退職給与引当特定資産繰入 4億11百万円
- ・減価償却引当特定資産繰入 3億円
- ・施設設備引当特定資産繰入 4億円

【13. 翌年度繰越支払資金】

平成28年度への翌年度繰越支払資金は38億17百万円である。予算額と比較して、6億84百万円増加した主な要因は、前受金収入が1億41百万円多かったこと、豚舎建替及びビッグリサーチセンター改修の実施時期を平成28年度に変更したことに伴い施設関係支出が減少したこと等である。

1-2. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の3つの活動区分ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにすることを目的としたものである。

平成27年度の活動区分資金収支計算書を文部科学省公表の財務分析の視点から判断すると、教育活動資金収支差額において、収入額が支出額を十分に上回っており、また、支払資金の増減額が2億31百万円となっていることから、キャッシュフローは良好である。

(単位:千円)

	科目	金額
教育活動による 資金収支	教育活動資金収入計	6,804,814
	教育活動資金支出計	5,393,812
	差引	1,411,002
	調整勘定等	△ 34,266
	教育活動資金収支差額	1,376,736
施設整備等活動による 資金収支	施設整備等活動資金収入計	824,548
	施設整備等活動資金支出計	1,798,571
	差引	△ 974,023
	調整勘定等	△ 34,394
	施設整備等活動資金収支差額	△ 1,008,417
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		368,319
その他の活動による 資金収支	その他の活動資金収入計	662,940
	その他の活動資金支出計	798,294
	差引	△ 135,354
	調整勘定等	△ 2,363
	その他の活動資金収支差額	△ 137,717
支払資金の増減額(小計+その他の活動収支差額)		230,602
前年度繰越支払資金		3,586,849
翌年度繰越支払資金		3,817,452

【教育活動による資金収支について】

教育活動資金収支差額は、13億77百万円となっており、資金確保が十分にできた状況と言える。

教育活動による資金収支に該当するものは、教育活動資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、施設設備拡充目的以外の特別(一般)寄付金収入や経常費等補助金収入、教育活動資金支出は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などである。

【施設整備等活動による資金収支について】

施設整備等活動資金収支差額は、高等学校校舎(3号棟)、麻布大学のちの博物館及び豚実習場の建築等への支払いがあったことから、10億8百万円の支出超過となった。

施設整備等活動による資金収支に該当するものは、施設若しくは設備の取得又は売却、その他これらに類する活動による収支であり、施設整備等活動資金収入は、施設設備寄付金(補助金)収入、施設設備売却収入、施設整備等活動支出は、施設(設備)関係支出などである。

【その他の活動による資金収支について】

平成28年度のその他の活動資金収入6億63百万円の内訳は、有価証券売却収入2億円、退職給与引当特定資産の取崩収入4億11百万円等である。

また、その他の活動資金支出7億98百万円の内訳は、有価証券購入支出2億円、将来の退職給与の支出に向けた積立金4億11百万円、借入金の返済1億11百万円等である。

その他の活動による資金収支に該当するものは、資金調達、資金運用に係る財務活動、預り金の受払い等の経過的な活動による収支であり、有価証券売却収入及び購入支出、受取利息・配当金収入、特定資産取崩収入、借入金等返済支出、特定資産繰入支出などである。

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の3つに区分し、経常的な活動及び臨時的な活動における収支内容を明らかにするとともに、「基本金組入額」を控除した当該会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにすることを目的としたものである。

「教育活動収支」は、収入額が支出額を2億24百万円上回っており、「教育活動外収支」は、10百万円の支出超過となっている。また、「特別収支」は、13百万円の支出超過となっている。

結果として、経常収支差額(教育活動収支+教育活動外収支)は、収入額が支出額を2億14百万円上回っており、また、事業活動収入計(旧帰属収入)から、事業活動支出計(旧消費支出)を差し引いた基本金組入前当年度収支差額(旧帰属収支差額)についても、収入額が支出額を2億2百万円上回った。

(単位:千円)

科 目		平成27年度 補正予算額	平成27年度 決算額	差 異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	5,154,100	5,112,810	41,290
		手 数 料	179,000	188,448	△ 9,448
		寄 付 金	85,000	70,188	14,812
		経 常 費 等 補 助 金	797,600	781,030	16,570
		付 随 事 業 収 入	452,000	452,236	△ 236
		雑 収 入	164,000	201,204	△ 37,204
		教育活動収入計	6,831,700	6,805,916	25,784
	支出の部	人 件 費	3,185,442	3,118,588	66,854
		教 育 研 究 経 費	2,687,190	2,752,281	△ 65,091
		管 理 経 費	698,700	709,289	△ 10,589
		徴 収 不 能 額 等	0	1,639	△ 1,639
教育活動支出計		6,571,332	6,581,797	△ 10,465	
教育活動収支差額		260,368	224,119	36,249	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	19,224	21,211	△ 1,987
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0
		教 育 活 動 外 収 入 計	19,224	21,211	△ 1,987
	支出の部	借入金等利息	31,000	30,913	87
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0
		教 育 活 動 外 支 出 計	31,000	30,913	87
	教育活動外収支差額		△ 11,776	△ 9,702	△ 2,074
経常収支差額		248,592	214,417	34,175	

【人件費】

人件費のうちの退職給与引当金繰入額は、教職員の退職の際に支払われるであろう金額のうち、今年度負担すべき金額を繰り入れるものである。事業活動収支計算書の退職金は、退職者に支給される退職金(資金収支計算書退職金支出)から、退職者の退職給与引当金取崩額を差引いた額である。

【教育研究経費】

減価償却額10億31百万円が含まれている。

【管理経費】

減価償却額1億15百万円が含まれている。

【徴収不能額等】

大科目「徴収不能額等」の内訳である小科目「徴収不能引当金繰入額」とは、麻布大学奨学金及び麻布大学父母会奨学金の過年度未収入金額及び動物病院の診療収入における過年度未収入金額のうち、徴収不能になりうる金額を引当金として繰り入れるものである。

特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の収入	44,300	45,670	△ 1,370
		特別収入計	44,300	45,670	△ 1,370
	支出の部	資産処分差額	0	58,438	△ 58,438
		その他の支出	0	30	△ 30
		特別支出計	0	58,468	△ 58,468
特別収支差額		44,300	△ 12,798	57,098	
予備費		100,000	0	100,000	
基本金組入前 基当年度収支差額		192,892	201,619	△ 8,727	
基本金組入額計 基合		△ 1,492,939	△ 741,760	△ 751,179	
当年度収支差額		△ 1,300,047	△ 540,141	△ 759,906	
前年度繰越収支差額		△ 9,249,269	△ 9,249,269	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 10,549,316	△ 9,789,410	△ 759,906	

事業活動収入計	6,895,224	6,872,797	22,427
事業活動支出計	6,702,332	6,671,178	31,154

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

【その他の特別収入】

大科目「その他の特別収入」の内訳である小科目「現物寄付」21百万円は、寄贈物品を金額に換算して計上したものであり、主なものは、教員からの科研費等で購入した備品、父母会からのトレーニングマシン、高校卒業生からの電子黒板、図書の寄贈である。

【資産処分差額】

教育研究用機器備品などの除却による処分差額である。

【基本金組入額】

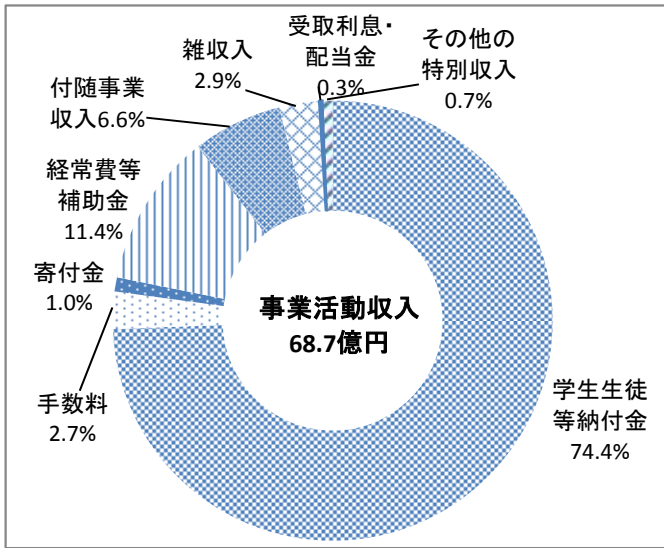
①第1号基本金：施設設備の整備拡充のために要した金額であり、平成27年度は7億42百万円を組み入れた。
②第4号基本金：恒常的な資金の維持のための基本金であり、平成26年度における消費支出の部の合計金額から退職給与引当金繰入額・退職金及び減価償却額を除く金額を12で割った1月分の相当額を設定することとなっている。なお、本年度は組入れを行わない。

基本金組入額とは、学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして、事業活動収入のうちから組入れた金額である。基本金には、第1号基本金から第4号基本金まで、4種類の基本金があるが、本学では第1号基本金及び第4号基本金を組み入れている。

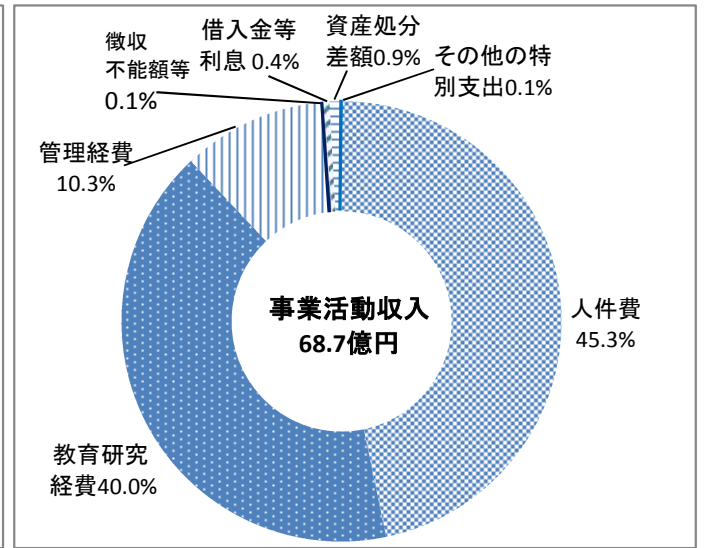
【当年度収支差額】

事業活動収支計算書における収支は、5億40百万円の支出超過となった。

事業活動収入の構成比率



事業活動収入に対する事業活動支出の構成比率



《事業活動収入決算額及び構成比率》

(単位:千円)

科目	決算額	構成比率
学生生徒等納付金	5,112,810	74.4%
手数料	188,448	2.7%
寄付金	70,188	1.0%
経常費等補助金	781,030	11.4%
付随事業収入	452,236	6.6%
雑収入	201,204	2.9%
受取利息・配当金	21,211	0.3%
その他の教育活動外収入	0	0.0%
資産売却差額	0	0.0%
その他の特別収入	45,670	0.7%
事業活動収入計	6,872,797	100%

《事業活動支出決算額及び事業活動収入に対する構成比率》

(単位:千円)

科目	決算額	構成比率
人件費	3,118,588	45.3%
教育研究経費	2,752,281	40.0%
管理経費	709,289	10.3%
徴収不能額等	1,639	0.1%
借入金等利息	30,913	0.4%
その他の教育活動外支出	0	0.0%
資産処分差額	58,438	0.9%
その他の特別支出	30	0.1%
事業活動支出計	6,671,178	97.1%

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

3. 貸借対照表

貸借対照表は、年度末(平成28年3月31日現在)における学校法人の財政状態を示す計算書類である。

資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産であり、負債とは、その財産の調達先のうち、将来返済しなければならない債務である。

学校法人会計基準の改正に伴い、自己資本的な項目である「基本金の部」及び「消費収支差額の部」を合わせて、「純資産の部」として表示することとなった。

なお、平成27年度末の本学園の資産総額は、282億18百万円となった。

〔資産の部〕 (単位:千円)

科 目		平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増 減
1	固 定 資 産	24,191,675	24,358,715	△167,040
	有 形 固 定 資 産	20,376,043	20,451,003	△74,960
	特 定 資 産	3,681,891	3,759,830	△77,939
	そ の 他 の 固 定 資 産	133,741	147,882	△14,141
2	流 動 資 産	4,025,996	3,900,238	125,758
3	資 産 の 部 合 計	28,217,671	28,258,953	△41,282

〔負債の部〕

科 目		平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増 減
4	固 定 負 債	3,227,283	3,290,939	△63,656
5	流 動 負 債	1,749,844	1,929,089	△179,245
6	負 債 の 部 合 計	4,977,127	5,220,028	△242,901

〔純資産の部〕

科 目		平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増 減
7	基 本 金	33,029,954	32,288,194	741,760
	第 1 号 基 本 金	32,577,954	31,836,194	741,760
	第 4 号 基 本 金	452,000	452,000	0
8	繰 越 収 支 差 額	△9,789,410	△9,249,269	△540,141
9	純 資 産 の 部 合 計	23,240,544	23,038,925	201,619
10	負債及び純資産の部合計	28,217,671	28,258,953	△41,282

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

4. 財産目録

平成27年度末の資産総額282億18百万円には、土地、建物、構築物及び備品等の基本財産203億76百万円と各種の特定預金及び特定資産等の運用財産78億42百万円が含まれている。この資産総額から、長期借入金及び退職給与引当金等の負債総額49億77百万円を差し引いた232億41百万円が正味財産である。